

2016 Sakuyo Faculty Concert I

Keigo MORI Flute Recital

森圭吾フルートリサイタル

Program

L. バーンスタイン／キャンディード序曲

L. Bernstein / Candide overture

F. シューベルト／しばめる花の主題による変奏曲

F. Schubert / Introduktion und Variationen über Ihr Blumlein alle

A. ジョリベ／リノスの歌

A. Jolivet / Chant de Linos

M. ファリャ／三角帽子より

M. Falla / From El Sombrero de Tres Picos-Suites

F. ドップラー／二本の独奏フルートとフルートオーケストラのための
アンダンテとロンド

F. Doppler / Andante et Rondo for flute Orchester

※都合により曲目が変更になる場合があります。

2016 **10/28** 金

18:30開場 19:00開演

会場：くらしき作陽大学 聖徳殿

入場料 | 前売 2,500 円 (当日 3,000 円) 高校生以下 入場無料

主 催：くらしき作陽大学音楽学部・作陽音楽短期大学

後 援：倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷市文化振興財団、岡山県吹奏楽連盟、山陽新聞社、RSK山陽放送、
倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビ放送

共演：高橋聖純 (Fl.)

お問合せ・チケット取扱い：くらしき作陽大学演奏芸術センター Tel 086-523-0822

森 圭吾 (Fl.)

国立音楽大学、シュツットガルト音楽大学、同校ソリストコースを経て札幌交響楽団入団。

1984年第7回ライブチッヒ・バッハ国際音楽コンクール入選。第53回日本音楽コンクール第二位入賞（一位なし）、同時に加藤賞受賞。

1996年初アルバムをリリース（ALMレコード）。『ケイゴと学ぶフルート教室』を岡山、東京、旭川、上富良野で行い、若者に音楽の喜びを伝えるために心血を注いでいる。また、各音楽誌上に連載、投稿、またエッセーなども手がけ10年間に渡って連載された『ザ・フルート』（アルソ出版）『ケイゴ先生の何でも相談室』では、読者人気投票 NO.1 を獲得。そのウイットに富んだ語り口は絶大な人気を誇った。また音楽教育活動として小中学校を対象に札幌交響楽団メンバー数名による「元気が出る音楽会」を企画し、子供たちに音楽の素晴らしさを伝えるために全国を奔走した。日本を代表するフルーティストであるとともに、2001年指揮活動を開始、指揮を円光寺雅彦氏に師事し、フルートだけにとらわれないマルチミュージシャンを目指している。札幌交響楽団首席フルート奏者を30年間務めた後、2015年春、くらしき作陽大学専任教授に就任。2015年12月27日、地元総社市で初となるベートーヴェンの「第九」を指揮する。作陽大学管弦楽団、合唱団、総社市民による合唱団を総監督、指揮。岡山県での音楽活動の第一歩を踏み出したばかりだ。



高橋聖純 (Fl.)

1975年東京生まれ。15歳よりフルートを始め1993年国立音楽大学に入学。在学中、びわ湖国際フルートコンクール入選を始め、第12回びわ湖国際フルートコンクールでは多忙なオーケストラ業の合間を縫って、見事第1位を獲得し実力を示した。1999年、シュツットガルト音楽大学に入学し、2001年札幌交響楽団に入団。2002年より同楽団副首席奏者。2013年から札幌交響楽団首席フルート奏者となる。これまでに森圭吾とともに日本各地でデュオコンサートを開き、ユーモアに富んだコンサートは大変好評で、ジャンルを問わない新たなファン層も獲得している。これまでにフルートを岡崎明義、大友太郎、パウエル・マイゼン、ジャン・クロード・ジェラルドの各氏に師事。もっとも期待されるフルーティスト。彼のフルートは純粋で、もっとも自然体な音楽。もっとも美しい音色を持つフルーティストである。

森可奈子 (Pf.)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。札幌交響楽団ピアニスト、内外の来道ソリスト、室内楽、伴奏ピアニストとして北海道を中心に活動している。

札幌交響楽団イタリア、ドイツ、英国を巡るヨーロッパツアーにもピアニストとして同行し、武満徹、ショスタコーヴィッチなどのピアノを伴うオーケストラ曲で重要な役割を果たした。

ピアノを山縣純子、田辺緑、故クロイツァー豊子、田中希代子、ウラジーミル・竹ノ内の各氏に師事。



Keigo MORI Flute Recital